

〈費用対効果分析説明資料〉

事業名	ダム建設事業(生活貯水池建設事業)	地区名等	奥戸ダム
-----	-------------------	------	------

[費用対効果算定内容]

1. 費用対効果の算定根拠

算定については、『治水経済調査マニュアル(案)』(平成17年4月 国土交通省河川局)に基づき行った。

本マニュアルにおいては、経済評価するうえで洪水氾濫被害の防止効果を便益(B)とし、事業着手時点から完成に至るまでの総建設費と、評価対象期間内における維持管理費を費用(C)として、それぞれ現在価値化したものを評価することとしている。

2. 費用対効果の算定条件

- ・完成年度 : 平成28年度
- ・ダム事業費 : 9,000百万円
- ・被害軽減額 : 確率規模1/30まで
- ・資産単価 : 平成19年度
- ・評価基準年 : 平成20年度

3. 費用対効果の算定

(1) ダムと河川改修による治水便益の配分

- ・奥戸ダムによる年平均絵被害軽減額 = 263百万円

(2) ダムの総便益

評価対象期間内におけるダム分、不特定分の便益を算定し、現在価値化した。なお、ダムの残存価値については、『治水経済調査マニュアル(案)』に基づき便益に見込んだ。

$$B = \text{ダム分の便益} + \text{不特定分の便益} + \text{残存価値}$$

$$= 4,133 \text{百万円} + 5,423 \text{百万円} + 301 \text{百万円} = 9,857 \text{百万円}$$

(3) ダムの総費用(C)

ダム建設費及び維持管理費を年度別に設定し、現在価値化した。

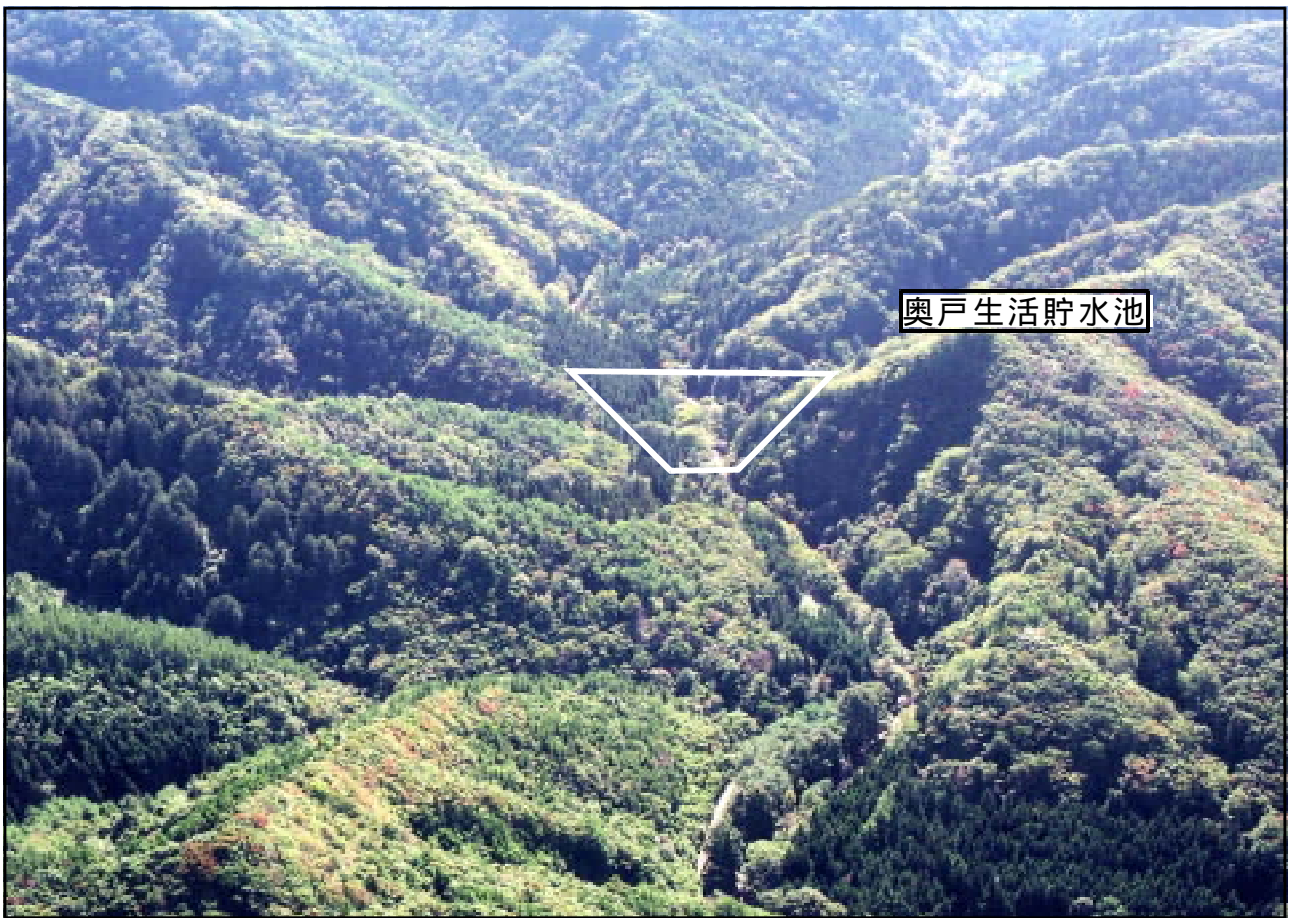
$$C = \text{ダム建設費} + \text{維持管理費} = 8,480 \text{百万円} + 708 \text{百万円}$$

$$= 9,188 \text{百万円}$$

[費用対効果分析の結果]

$$B / C (\text{再評価時点}) = 9,857 \text{百万円} / 9,188 \text{百万円} = 1.07$$

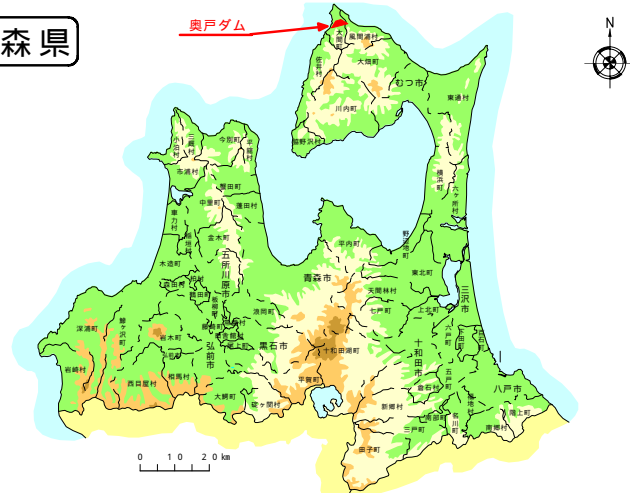
奥戸生活貯水池計画地



[全体計画図]

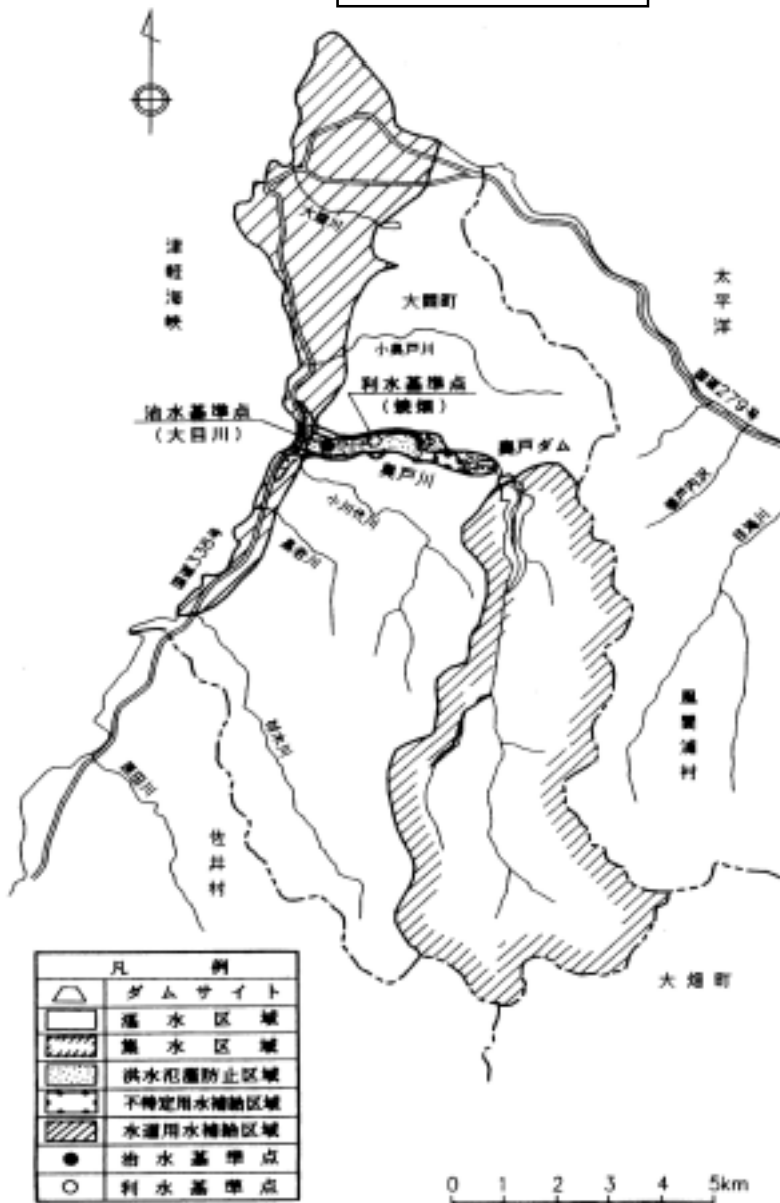
(1) 事業実施箇所位置図

青森県



(2) 全体計画平面図

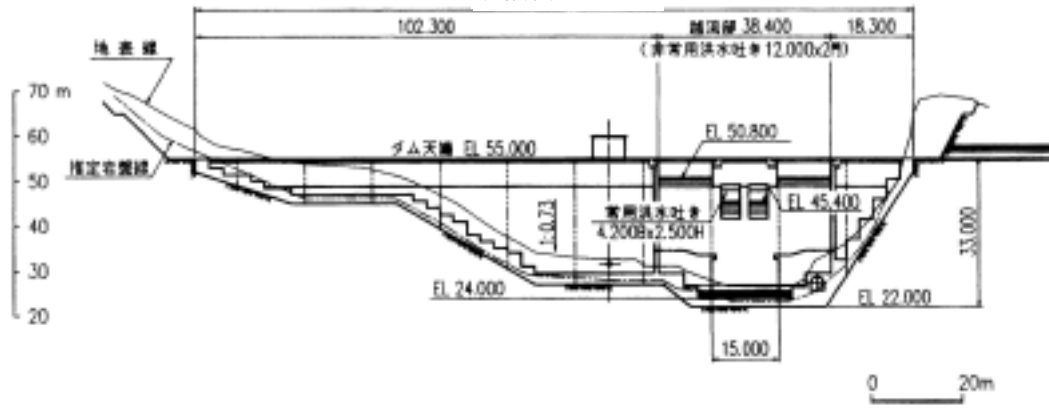
流域一覧図



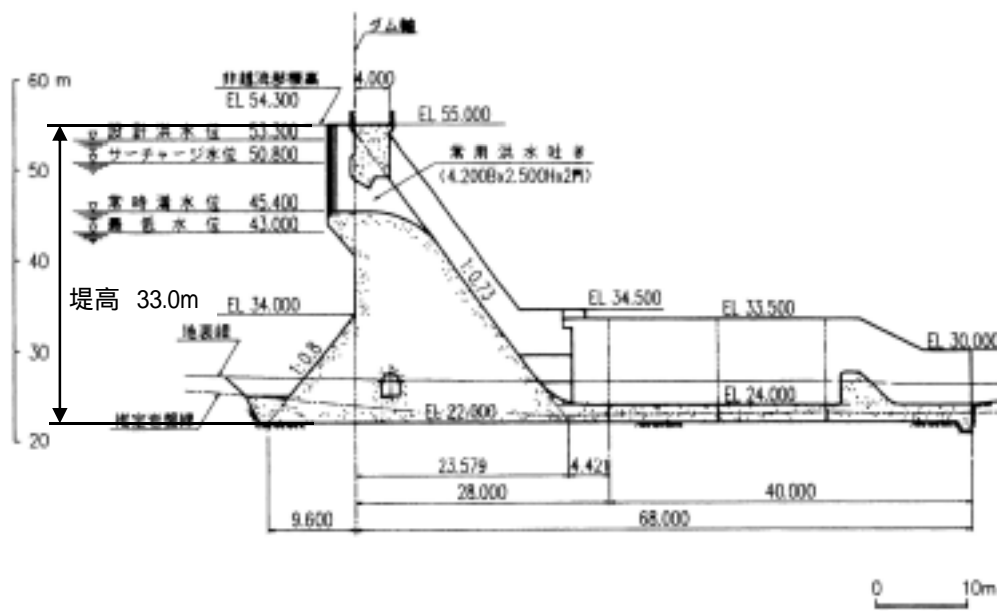
(3) 構造図

堤体下流面図

堤頂長 159.0m



標準断面図



奥戸ダム(生活貯水池)治水必要性

平成10年9月15日 台風5号による出水状況



奥戸ダム(生活貯水池)治水必要性

昭和44年8月23～24日 台風9号による出水状況



昭和50年7月27～28日 台風2号による出水状況

